



## 創立10周年に向けて



同窓会長 度会 敏彦

この度、同窓会長として3期目の大役を引受けるにあたり大変戸惑いを感じております。

来年5月頃予定しております記念式典は、岩村高等学校が90年、明智商業高等学校が70年、そして恵那南高等学校が10年の記念式典となります。皆様のご協力とご支援をお願い申し上げます。

本年1月14日に「学校と恵南地域づくり講演会」を同窓会主催で実施したところ、約600人の方々に参加していただき、明智かえでホールが満員になるほど大変盛り上がりしました。「学校の存続と地域の活性化」につながる良いスタートとなりました。

恵那南高等学校は「総合学科」の学校であるため、ビジネス系列の生徒達は商業中心の勉学を行います。全国商業高等学校協会主催の検定試験で、1級以上の合格者が平成27年度は14名ですがその合格率は78%と優秀です。他校と比べても大変高い合格率です。

また本校卒業生の小木曾太一君(山岡)が大学在学中に税理士試験に合格されました。大学在学中の合格者は、全国で6人という難関を突破した快挙です。「高校で簿記の楽しさを知ったことが今につながっています。地方においても諦めなければ夢はかなうの

で、後輩にも頑張ってもらいたい」と、小木曾君はエールを送っています。後に続く者達が出てくることを期待しています。

教育活動の中に小学生、中学生、高校生と一緒に活動する「浪漫学園」があります。地域を取り込んだ活動で、生徒の資質を非常に高めています。また、ロードレース大会や部活動では、吹奏楽部の演奏もすばらしいものがあります。

9月には模擬面接の指導をさせていただきます。良い学校になってきていて感じています。



## Nothing in Life is Worthless!

校長 高谷 信吾

「Nothing in Life is Worthless」本校の校歌には英文が含まれます。「人生に無駄なものはない」というとても素晴らしい言葉です。

「無駄な学問はない」この言葉もよく生徒に言う言葉です。目先のことに捉われれば、必要な教科以外の勉強は無駄なように思えますが、実際にはそんなことはありません。

同じように「無駄な学校」もありません。地域の子どもの減少と、ここ数

入学生徒数は平成26年度、59名、平成27年度、57名、しかし平成28年度は74名でした。学校活性化の支援の効果が出始めています。同窓会としても恵南の中学校の校長にお願いに伺いました。同窓会では、恵那南高等学校を恵那市の各中学校の卒業生を受け入れる学校として支援、補佐するよう力を入れてまいりたいと思います。是非皆様のお子さんやお孫さんに恵那南高等学校をお勧めいただきたいです。今後も会報発行や生徒表彰などの活動を活発にしていきたいと思っております。資金運営について厳しいのが現状です。今までと同様に恵那南高等学校同窓会発展のため、会員の皆様の温かいご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

発行  
恵那南高等学校同窓会  
〒509-7793  
恵那市明智町41-2  
http://school.gifu-net.ed.jp/enaminami-hs/  
TEL(0573)54-2537  
FAX(0573)54-4652  
印刷・デザイン  
株式会社サラト

い学校であるはずですが。また、本校でなければならなかった生徒も多にいると思います。

自然に恵まれた恵南の明智町に岩村高校と明智商業高校が統合し総合学科の学校として創設されはや10年が経とうとしています。

ここ2・3年の入学者数の減少や少子高齢化や人口減少による地元中学生の減少により、今、本校の存続を含めた「在り方」が問われています。学校の活性化・魅力化を図り、生徒募集に繋げるとともに、地域になくてはならない学校づくりを求められています。

秋も深まる頃、同窓会の梅村さんが来校され、隠岐島前高校へ行かれた話と、隠岐島前高校魅力化コーディネーターの豊田章吾先生に講演を依頼し、会場も押さえたということを伺いました。あまりに急な話とその展開に驚きましたが、「風」を感じました。結局、同窓会が主催で講演会を開くということとまでとなり、度会会長と梅村さんが各方面に協力を依頼し、また同窓会にも協力をいただき講演会を実施することができました。約600名の来場者を集め活気のある実りの大きい講演会を行うことができました。地域の方々に認識してもらっただけでなく、恵那市長をはじめとする恵那市の幹部や水野県議や恵那市議等多くの来賓も参加いただき、本校の活性化・魅力化に対する認識を持っていただきました。

岐阜県学校活性化策定委員会の答申を受け、本年度から3年間の計画で、学校の活性化・魅力化を図る事業を行っています。恵那市の関係者、岩村町・明智町等の地域の方々、中学校の先生等々多くの方々の協力と支援を受けて取り組んでいます。

そのひとつとして高校3年間を通じた学習活動として、「6次産業学習」を始めました。これは恵那の特産である栗を題材に栽培生産、加工、販売ま

での一連の流れを学習します。この学習は地域の活性化のために地域ビジネスの展開と新たな事業の創出を考える基礎となり、地域社会人として地域を支え、地域に生きる人材として期待される本校生徒にとって大きな力となります。

また、地域の様々な行事にボランティアとして参加するだけでなく、企画段階から関わることや、地域の文化、産業、自然等を学習することにより郷土愛を育み、地域を支える心を育てます。

創立以来、隣接している明智小、明智中、ボランティア活動を推進する日本大正村、岩村高校跡地に移転した恵那特別支援学校が連携し「浪漫学園」という地域に根付き、児童・生徒・教員が交流し育つロマンある学園を運営しています。小・中・高・特支・地域が結び付き、互いに交流し、学び合うことで校種間・世代間のギャップを埋め、参加するものが育つ教育活動を行っています。

挨拶がしつかりでき、場に応じた服装・作法を身に付け、将来に夢と希望を持ち、責任ある行動ができる地域社会人を育てることが本校の使命です。純粋で素直な生徒たちは、どの教育活動にも真摯そして健気に取り組み着実に成長しています。

「なくてもよい学校はない」地域にとってなくてはならない学校として今後とも地域と連携し充実した教育活動をしてまいります。思いやりのある活動をお願いします。



おんさい祭りボランティア(H28.5)

## 10周年記念式典について

本年度、岐阜県立恵那南高等学校は10年目を迎え、岐阜県立岩村高等学校の前身である岐阜県恵南実科女学校から数えて89年目、岐阜県立明智商業高等学校の前身である組合立恵南高等学校から数えて68年目となります。各高等学校の周年記念のお祝として、「岐阜県立恵那南高等学校10周年記念（岩村高校90周年、明智商業高校70周年）」を平成29年5月27日（土）に行います。同窓生の皆さんには、多数ご出席いただきますようお願いいたします。恵那南高等学校渉外部までご連絡いただければ、ご案内をお送りします。

式典出席予定者は、同窓会役員・同窓生・在校生・PTA役員・PTA会員・本校職員・一般（中学生等）です。

なお、県教育委員会関係者、地区高等学校長、地区中学校長、歴代校長、歴代同窓会長、歴代PTA会長、学校評議員、魅力化プロジェクト評議員、浪漫学園関係者、永年勤続職員を来賓として予定しています。

詳細につきましては、今後、周年記念式典実行委員会を開催し、順次決定していきます。どうぞよろしく申し上げます。

## 同窓生便り

あのころくあ、四十五年かあ

円山真悟

私が新任教師として岩村高校に赴任したのは、一九七〇年、大阪万博が開催された年の四月だった。初めての中央線、初めての明知線。降り立った岩村駅の前に建っていた『ようこそ新軽井沢へ』の標識が印象的だった。ただ、軽井沢を全く知らなかった私には、「新」とついても「ふん」と思うだけであった。

さて、岩村高校である。例えば部活動。三年ほど文芸部の顧問をしていたが、部長はそれはたぐいまれなる発想力と実行力と指導力を持っていた。彼女は、自分で奈良県桜井市の民宿に予約して、夏休みに「山の辺の道を訪ねる」をやりとげた。草いさけの中、汗だくになって三輪山の山道を私たちは登った。また、「文化祭に展示したいので、お言葉を取りたい」旨の手紙を著名な作家に送った。若さは時として大胆なことをさせるなあと驚きつつ、一通も戻らなかつたらかわいそうだなと思っていたら、なんと

七割の方から返事と色紙が送られてきたのだ。あの色紙は今どこにあるのか。

例えばクラス活動。初めての担任クラスは一年生であった。六月中頃、「城山に青少年の家があるからそこでクラス合宿をした」と五人ぐらいの女子生徒が提案してきた。自分たちで「城山オリエンテーリング」らの行事を企画し、規律も役割も献立も決めて生徒指導部に提出した。教生の先生も誘ってクラス全員で成功させた。

例えば地域の活動。明智在住の女子生徒三人が私（明智に住んでいた）の所へ来て、「明智で映画会をやりたい。手伝ってくれないか」という。気楽に引き受けた方がいいが、映画会など生徒は勿論私も初めての経験で、試行錯誤というか四苦八苦というか、生徒の一人Hさんの自宅で会議をするのだが、みんな頭を抱えながら見通しのなさに焦っていた。そんなとき、彼女らの中学時代の恩師N先

生が見かねて助言と指示を下された。曰く「あんたら自分たちだけでやろうとしちゃあかん。明智中の同級生全部に声をかけて実行委員会を組織して、知恵を借りたりチケットを売ってもらったりせなあかん」。

それから三人は仲間を増やすために奔走し、説得し、納得してもらいながらチケットの売り上げを驚異的に伸ばしていった。当日、小学校の体育館は満員であった。実行委員長のTさんはしっかりと口調で映画会の経緯と感謝を述べ、そして映画『春男の翔んだ空』はスクリーンに映し出された。

事ほど左様に、岩村高校の生徒たちには、概して自主的・自立的な（平たく言えば、あんなこともやってみよう、こんなこともやりたい、という）気風が残っていたように思う。しかもこの点においては女子が男子を凌駕していた。圧倒的に。そんな記憶が強く残る生徒たちではあった。

ひよっとしたら、街中に『女城主』の麴菌が充満していて体内に入り、彼女たちの行動様式を醸成していたのだろうか（んなバカな）。





# 部活の思い出

渡辺 和義

(昭和35年岩村高校普通科卒)

私は岩村高等学校へ入学したことを今でも良かったと思っています。それは部活を通じて先輩後輩等の仲間と知り合えたことが大きかったと思います。私はどちらかといえば内向的で友達をつくることは下手です。女生徒などにはとても話しかけられず、向こうから話しかけられると顔が真っ赤になってしまうほどでした。

そんな私を救ってくれたのが部活動でした。私が入ったのはバレー部と書道部でした。阿木中から普通科に入った男四人がなぜかみんな書道部に入りました。その中には書道の先生になられた神谷さんもいらっしやいます。書道部はやはり女性ばかりで、何とか三年間女性の中で頑張りましたが字はまったく上手くならず、私の書いた額も、最初はよく見える居間に揚げてあったのが、だんだん奥の方へ行きそのうち蔵の中へ入ったままになってしまいました。

一番の思い出はバレー部です。中学校からバレーをやっていたが、阿木中はバレーが強く部員も多くいましたので小さな私は補欠ばかりでした。それが高校になって正選手になれて、



昭和35年 岩村高校

本当に嬉しく思いました。練習で走る時は左手に製氷池を見ながら最後のお宮の階段のえらかったことだけは、はつきり覚えています。が、やはり楽しいことの方がたくさんあったような気がします。先輩がいて後輩がいて、そして卒業した先輩も時々見に来てくれる、そんな良いつながりが部活動にはありました。実はバレー部の同窓会を任されているのですが、早くやらねばと焦っているところです。私もすっかり年を取ってしまいました。昔の仲間と会えるのは楽しみです。女性の方がどれだけわかるかがちょっと心配です。

# 高校時代に思いを馳せ

勝川 甲子

(昭和52年度明智商業高校商業科卒)

私は、昭和五十三年に明智商業高校を卒業し地元明智町へ就職しました。今日まで三十七年間母校を風景として何気なく感じながら過ごしてきましたが、今回の投稿で改めて高校時代に思いを馳せることができました。

当時私はバスケット部に所属しており毎日練習に励んでいた。しかし我が部は全体に小柄な部員が多かったせい、練習はボールを追う時間より日々体力づくりに時間を費やしたことが印象深い。学校から門野神社へのロードワーク、鉄棒での懸垂からの逆上がり、腹筋などの筋トレと続く。おかげで体力測定では常にクラスで上位をキープできていた。現在の体型からは想像が付かないだろうが、割れた腹筋と疲れを知らない身体が懐かし

い。夏休みには大会へ向けて合宿を行った。毎朝部員は裏山へ登り大声で必勝の思いを叫び、昼間は蒸し暑い体育館の中懸命にボールを追いかけていた。当時は水分を取らないことがメンタルを鍛えると言われ、現在では考えられない環境下の練習であり、熱中症にならなかつたことが今でも不思議である。

秋になると部活も一段落し学校祭「白鷹祭」に向けて生徒会が動き出す。文化祭と体育祭を連日で行うことが伝統であったが故に、掛け持ちの準備が非常に大変であった。

文化祭準備に時間を割くことで、体育祭間近になつても応援合戦に向けた練習時間がとれず、夕方体育館横で練習を始める時には既に太陽が沈みかけていた。赤く染まる稲穂の上を無数のトンボが飛んでいる情景を眺めながら、声を張り上げ暗くなるまで練習をした。その後は学校から自宅が近いこともあり、私の部屋に、入りきれないほどの仲間

師走を前にした去る十一月末、愛知県美浜町にあるオーシャンビューのホテルにおいて昭和三十九年B組卒業生のクラス会を一泊二日で開催した。二年振りの再会で以前より白髪が目立ったり頭部が寂しくなつた者など年齢を感じさせた。

## 三十九年B組岩高クラス会便り

島へ向かった。途中シヨッピングや酒蔵の試飲を楽しみながら午後四時に到着。マイカーの参加者がほとんどなく合流し十四名となった。皆、節目の古希を迎えたが、宴席はいつも通り盛り上がった。その後、部屋での二次会へと席を替え、思いを寄せた級友の話など話が弾んだ。酒豪の勇者もおり酒酌み交わしな

間が集まり、作戦会議を口実に夜遅くまで語り合っていたことを思い出す。

何れの思い出も多くの仲間がいたことと集える学校環境があったからにはほかなりません。しかし、最近では新入生が定員数に満たない状態が続く、母校の再編が検討されていることは多くの方が知るところであります。

恵那南高校では今年から「恵那南高校魅力化プロジェクト推進協議会」を立ち上げ、学校の活性化・魅力化を目指し、生徒募集に鋭意努力されています。

そんな中、私たち同窓生も母校のために、今自分に何ができるのかを考え、行動することが必要ではないでしょうか。その手始めに皆さんも今一度、高校時代に思いを馳せてみませんか。



昭和39年 岩村高校卒 3年B組 クラス会

G生記

から延々と、気が付けば時計はとつと十二時を回っていた。翌日は快晴、ひと月逆戻りしたかの様な好天の中、バス運転手さんの親切な案内で見学や海産物店へ立ち寄りをした後、S君馴染みの店で海鮮丼を賞味した。一服して帰路につく時間となったが、サブライズが起きた。W君のマイカーでこれから香嵐溪へ紅葉見物に行くとのこと。互いの健康と再会を約し散会となり、半数近くが紅葉狩りへ、残った者は午後二時頃無事名古屋駅に到着し解散した。冬の足音がする時期であったが、二日とも穏やかな天候に恵まれ、幹事として合格点をもらえるのではと自己採点している。ちなみに夜Aさんから電話が入り、お礼と香嵐溪は平日にもかかわらず大変な人出であったと報告を受けた。

## 恵那南高校は地域の宝物

小木曾 光佐子 (昭和47年度明智商業高校商業科卒)



「恵那南高校がなくならぬって本当？」思わず驚き

の声をしました。岩村高校と明智商業高校が再編統合をし、数年経ったところなのであり得ない話だと思いました。そんな時「学校と恵那地域づくり講演会」があると聞き、参加しました。島根県立隠岐島前高校魅力化コーディネーターの豊田庄吾氏を講師に迎え高校を核に地域づくりをするために必要なことは何かについて講演されました。

この講演会を聞き、本当にしなければならぬのは大人たちの意識改革であると痛感しました。子どもたちに誇れる街づくりのために言い訳をしないモデル作りと、誇りの創出こそが高校の存続にも繋がるものと思えました。これをきっかけに自分の意識の形成に深く関わっているのが現恵那南高校の前身、明智商業高校で学んだことにあると気づきました。

「恵那南商業科目については新たな分野であることから期待を持って入学をしました。そこで出会った担任との日々は今思っても楽しいことばかりでした。ホームルームを利用してクラスで宿題をしたり、相談にも快くのつていただいたり、先生との毎日はとても充実していました。一年後、彼は「君たちの姿を見たら自分ももう少し勉強がしたくなかった」と言われ、大学院に進まれました。この一年間が基礎になりその後、自分の思うこと、したいことを相手に伝えること、行動するためにどうするかを学びました。この学校の個人を大切にしながら、個性も引き出してくれると言う校風は今も残っているものと思います。今また恵那南高校は再編統合対象になり、瑞浪高校も同じように対象になっています。このままでは恵那地区はもとより近隣地区では公立高校に進むのに、恵那市か土岐市まで通わなくてはならなくなります。今まさに前出の豊田先生の言われる、地域の伝統を伝え、この町で自分に出来ることは何か

を考える力を付け、町に貢献できる人材を育てる時期が来ていると思います。このことは地域住民と親、学校との協働がなければ成り立ちません。他人事と思わず、自分のこととして、地域の宝物としての恵那南高校の存続に向け、皆で力を合わせてまいりましょう。自由で柔軟な考え方ができるよう指導して下さった梅村明彦先生、私、昨年未知の世界に新たな一歩を踏み出し、挑戦していますよ。

## 岩村は第二のふるさと

塚田 太郎 (昭和39年度岩村高校普通科卒)

隣町の上矢作に住んでいて岩村が第二のふるさとというのも大げさな話だと思われるだろう。それは卒業後十年ほど上矢作を離れていたし、岩村高校時代がとても思い出深くクラスメートにもいい友がいたからだ。卒業後、恵那駅からバスに乗って上矢作に帰る時には、必ず岩村駅で降りて通りを上町まで歩き、そこからまた次のバスに乗って帰った。岩高時代が楽しく思い出も深かったからだ。思い出は色々多いが、心に残っていることを思いつくまま書いてみる。

私は入学して野球部に入部届けを出したただけですぐに退部した。入部届けを出した後でクラスメートのどこへ入部したかを聞いたところ、他地区の子が意外と体育系へ入っていないかった。要は疲れて勉強できないからということだった。入学前から岩村や山岡の子は英語ができるなどと聞いていたので、私は焦った。それで野球部の練習に行かずにいたら、放課後上級生数人が教室へ入ってきて責められた。これは正直言って怖かった。それで顧問の先生に断りに行って許してもらった。その後どの部に入ろうか迷っていたところ、まだ決めていない人もいたので相談して男三人で語学部に入ることにした。語学部に入れば英語ができるようになるだろうという甘い考えだった。ところが入ってみると男子はこの三人だけ。あとは二・三年の女子だった。その上、早速言われたことは秋の文化祭に英語劇をやるということだった。しかも劇はベニスの商人で男性役が多い。私はアントニオを、他の二人はシャイロックとパッサニオを命じられた。その後練習をしたことは覚えてはいるが、当日の



ことは何も覚えていない。一年間を終えたら三人とも揃ってあっさり退部した。

秋の体育祭の行事だったと思うが、全校のフォークダンスが行われた。その時の組み合わせは、三年男子は二年女子、二年男子は一年女子、一年男子は三年女子と組むというものだった。私にとって三年女子は大人びたお姉さんという感じで、恥ずかしさもあって手に手をとって踊るのがとても嫌だった。同じ気持ちの仲間もいて、ダンスの練習の日には逃げ帰る者も結構いた。そうしたら三年生の先輩が校門に立っていて逃げないように見張っていた。確か竹刀を持っていたような記憶である。そんなある日、私は友達と二人で校門ではなく、校舎横の生垣をくぐって逃げ出した。その時は成功したが、その後はそれも無駄であった。今から思えば、ダンスの相手も順に変わっていくような曲もあったのだが、おかしなことをしたものだ。要は逃げ出すスリルを味わっていたのかもしれない。

二年生か三年生の時から城山マラソンが始まった。月に一回全校で城山まで走って登るというものだ。コースは富田を通り大きく迂回して城跡まで走るというものである。頂上近くの急な坂道に入ると結構きつかった。更に年一回ではあるが、山岡あたりまでのマラソンがあっ

た。足に鉄の棒が入ったようになり、ふらふらで校門へたどり着いたことを覚えている。何でもこんなにはえらいことを思ったものだが、そのお蔭なのかそれ以後岩高はマラソンで結構名を馳せ、同級生には選手もいた。

担任は三年間桜井伸美先生だった。岩高の主のような先生だったのでご存知の方が多いと思う。数学と一年時体育を習った。数学はフリーハンドできれいなグラフを書かれた。文字も美しかった。体育の剣道の授業で、真剣を持って来て一振りして見せてくれたことには驚いた。自分の振り下ろした刀で自分の膝を切らないようにと話され、妙に納得したことを覚えている。私も教師になったので、先生にはその後も色々とお世話になった。

以上たわいもなく後ろ向きなことばかり記したが、私にとつては良い思い出の一部であり岩村は第二のふるさとということだ。在校生の皆さんには明智が第二のふるさととなるよう、恵那南高校でたくさん思い出を作してほしい。



Topics

恵那南高校トピックス

平成26年 トピックス

陸上部東海大会へ

9月20・21日に長良川陸上競技場で行われた、第43回岐阜県高等学校新人陸上競技大会において、2年B組加藤涼奈さんが女子円盤投げにおいて見事優勝し、10月25・26日に静岡県袋井市で開催されます東海新人陸上大会への切符を手に入れました。

自己記録を6月の大会から一気に6m近く伸ばし、一気に岐阜県の頂点に上り詰めました。東海大会においても入賞が見える位置に付けていますので、恵那南高校の代表として頑張ってくださいと思います。



スケート部 インターハイ・国体出場

スケート部の3年A組伊藤駿君、3年C組阪上愛心穂さん、1年A組鈴木海斗君の3名が県内の予選を勝ち抜き、全国大会に出場します。

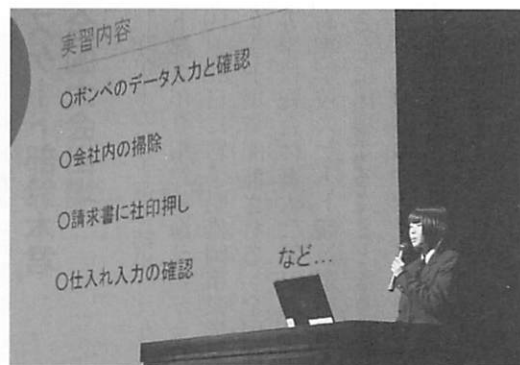
1月21日、25日山形市で行われる第64回全国高等学校スピードスケート競技選手権大会に上記3名が出場。伊藤君と鈴木君は1000mと1500mに、阪上さんは1500mと3000mにそれぞれ出場します。

また、引き続き28日、1日に群馬県渋川市で行われる2015ぐんま冬国体スケート競技会には阪上さんが出場します。(1500m、3000m、2000mリレー) 15日にはPTAより出場選手に激励金を贈呈しました。

産社・総学発表会

1月28日午後、明智かえでホールにて、今年度の「産社・総学発表会」をおこないました。本校は総合学科の高校として、

平成十九年に恵那南高等学校となって十年目を迎えました。生徒たちは恵那市内はもちろんのこと、瑞浪市・土岐市・中津川市からも通学してきてくれています。昨年度から今年度にかけての生徒の活動の様子をお伝えします。校名は変わりましたが、みなさんの後輩が生き生きと頑張っていることを知っていただきたいと思えます。



1年次の授業「産業社会と人間」、そして2・3年次の授業「総合的な学習の時間」を通じ、進路意識を高め、社会人として自立できる人間の育成に努めています。その成果を発表し、皆さんに知っていただくとともに、発表することにより、発表者自身が更に成長していく場を作るため、毎年発表会を開催しています。今年も、地元明智町の皆さんを始め、小中学校、高校の先生方など約30人の来賓にもお越しいただきました。終了後の感想には、「生徒が堂々と夢について語る姿はとても素敵だと思いま

した」「さまざまな体験を計画的に行っていくことで、自らのキャリアを考える機会が生徒に与えられており、生徒もそれを生かして成長につなげていると感じました」「(1年生より2年生、2年生より3年生の発表のレベルが上がっていて)学年進行によって生徒が成長していることが実感できました」などがありました。

### 平成27年 トピックス

#### 陸上部県優勝、東海へ

5月22～24日に長良川陸上競技場で行われた、岐阜県総合体育大会において、3年A組の加藤涼奈さんが女子円盤投げにおいて見事優勝し、6月19～21日に静岡県袋井市で開催される東海高等学校総合体育大会への切符を手に入れました。

昨年度の新人戦も優勝しているながら、なかなか思うように記録が伸びていなかった今シーズンでしたが、最も重要な大会の最終投擲で、3位からの逆転優勝というかたちで、県大会において優勝することができました。

#### 相澤先生 全国7位入賞!!

7月4～5日長野市で行われた日本選手権陸上十種競技において、本校保健体育科教員の相澤翔先生が7,480点の自己ベスト・岐阜県記録を樹立、見事7位入賞を果たされました。

て、本校保健体育科教員の相澤翔先生が7,480点の自己ベスト・岐阜県記録を樹立、見事7位入賞を果たされました。

十種競技は「デカスロン」といい、2日間で「1000m・走り幅跳び・砲丸投げ・走り高跳び・400m・110mH・円盤投げ・棒高跳び・やり投げ・1500m」の10種目を行い総合得点を競う競技です。世界的にはたいへん評価が高く、勝者には「キング・オブ・アスリート」の称号が与えられる過酷な競技です。日本ではマイナーな競技でしたが、最近では元十種競技日本チャンピオンで現在タレントの武井壮さんの登場で、名が知られるようになってきました。

相澤先生は大学時代より十種競技に取り組み、本校に赴任してからも校務の傍ら時間を捻出して、トレーニングを続けてこられました。しかし、多種目をこなす十種競技に取り組むには莫大な時間と練習場所・用具が必要となります。そのため、日本選手権に出場するほとんどの選手が実業団所属か大学のトップアスリートだそうです。

そんな中、相澤先生は練習時間や場所を工夫し、日本最高峰の大会で、自己ベスト&岐阜県記録更新につなげました。本当におめでとうございます。

#### 佐章翔祭終わる

9月1～3日、今年度の佐章翔祭を実施しました。生徒数の減少に伴い、盛り上がりには欠けるのではないかと心配されましたが、3年次生を中心に生徒全員が真剣に取り組んだ結果、文化・体育の両部門で多くの生徒が楽しめる学祭になりました。



今年度は例年になく秋の訪れが早く、文化の部のメイン会場である体育館も適度な気温で、快適に見学できました。また、3日の体育の部当日は、午後からの降雨が心配されたため、いくつかの種目をカットするなどのし、午前中にほとんどを終了させましたが、終了、片付けと同時に雨が降り出すといった具合で、大きな怪我もなく、無事に終わらせることができました。

また、体育の部のお昼休みに、PTAふれあい委員の皆様が、生徒全員にスポーツドリンクを配布してくださいました。ありがとうございました。

#### ロードレース大会終わる

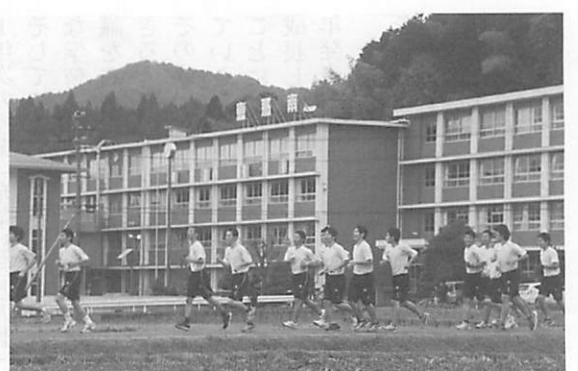
12月14日(月)、恒例のロードレース大会を開催しました。

計画では11日(金)に開催予定でしたが、雨天のため延期となり、14日に行いました。例年になく暖かな12月の一日でしたが、曇り空の下、生徒たちは元気に走り抜きました。途中には急な登り坂もある、男子は約15km、女子は約10kmのコースをトップの生徒は男子は1時間ほど、女子は50分ほどで帰ってきました。

以前は恵那地区のほとんどの高校で行われていたロードレース大会ですが、交通事情から、コースの確保が困難になり、現在では行われている学校が少なくなっていました。生徒にとっては苦しいことの多い行事ですが、この苦しさ乗り越えることにより、一つ成長できるのではないかと思います。

男子は2年A組の門野康平君が2年連続、女子は3年B組の鈴木華流さんが3年連続の優勝を飾りました。またクラス対抗では、部活動を引退した3年次生を尻目に、2年次生3クラスが上位を独占しました。

大会当日は平日にもかかわらず、PTA役員、一般会員、同窓会役員、地元保護司会の皆様にご協力いただきありがとうございました。



#### スケート部鈴木君 全国大会出場

昨年末の県予選の結果、スケート部2年B組鈴木海斗君が今月19～23日に岩手県盛岡市県営スケート場で開催される「全国高等学校総合体育大会第65回全国高等学校スケート競技選手権大会」に出場することとなりました。1000mと1500mの2種目に出場します。

年間を通じ氷の上で練習できる期間は短く、シーズン以外陸上での地道な練習を積み重ねた成果が実り、見事出場を勝ち取ったものです。



# 恵那南高校の進路状況 (平成26年～27年度)

## 就職

地区	所在地	企業名	H27					H26				
			製造技能	事務	販売	サービス	他	製造技能	事務	販売	サービス	他
県外	名古屋市	日本郵便(株)東海支社		2					2			
		(株)不二屋(ナフコチェーン)			1				2			
		(株)札幌かに本家								2		
		敷島製パン(株)	2					1				
		(株)和香LT									1	
		ナフコ(株) トミダ			1							
	(株)E N E O Sウイング			1								
	豊田市	トヨタ自動車(株)							2			
		林テレンプ(株)	1					1				
		ビューテック(株)	1									
刈谷市	(合)稲武OGMカントリークラブ				1							
春日井市	(株)デンソー	1					1					
その他	(株)サンデリカ名古屋事業所	1										
東濃地区・県内	恵那市	陸上自衛隊					1					
		明知ガイシ(株)	1					1				
		明智セラミックス(株)	1					1				
		(株)明智ゴルフ倶楽部				1				1		
		明知・大成化工(株)	1									
		岩村三協(株)	1	1								
		恵那機器(株)							1			
		恵那東海理化(株)	2						1			
		(株)恵那川上屋							1			
		(株)恵那峡グランドホテル				1						
		(株)エミ							1			
		(社福)恵雄会				1						
		昭和包装工業(株)							1			
		瑞陵精機(株)	1						1			
		セントラル建設(株)					1					
	(社福)たんぼ福祉会									2		
	千代田電子工業(株)						1	1				
	東濃コア(株)	1										
	(株)東濃デンソーサービス								1			
	(株)トータルケア				1							
	(株)トマト				1							
	(株)二宮クリスタル									1		
	橋本組									1		
	本多金属工業(株)	1						1				
	明光化成工業(株)	2						2	1			
	(株)メダリオン・ベルグラビア				1							
	山岡電気工事(株)						1					
	山本石油(株)								1			
	(株)山本製作所 恵那工場							1				
	リコーエレメックス(株)	1										
RITA エレクトロプロダクツ(株)	2											
中津川市	(株)愛工機器製作所 中津川工場	1					1					
	(株)イフビシ						2					
	(株)トキワ	1										
	東美濃農業協同組合							1				
瑞浪市	(株)さくら屋								1			
	合同会社 ラーテル									1		
	(株)アコーディアゴルフ								1			
	(株)オートビークル土屋						1					
	陶栄自動車(株)	1										
	(株)コクサイシヨバースエイト			1								
	(株)十味惣						1					
土岐市	(医)瑞岐会					2			2			
	瑞浪精機(株)	1										
	(株)ヨータイ 瑞浪工場						1					
	高砂工業(株)	1										
	新興窯業(株)	1										
多治見市	(株)丸利玉樹利喜蔵商店						1					
	東海西濃運輸(株)						1					
	(医)慈杏会 熊谷医院						1					
	(株)アコーセラミック	1										
	BUSU本部 古田龍次								1			
岐阜市	ダイキャスト東和産業(株)						1					
	(株)平成観光				1							
	(株)十六銀行		1					1				
可児郡	東和開発(株)				1							

## 進学

種別	学校名	H27	H26	
				国公立
四年制大学	私立	愛知学院大学	1	1
		愛知みずほ大学		1
		岐阜女子大学	1	
		福山女学園大学	1	
		大同大学		1
		中京学院大学	1	
		中部学院大学		1
		中部大学	1	1
		名古屋学院大学	1	
		名古屋経済大学	1	
名古屋商科大学	1	1		
日本福祉大学	1			
短期大学	私立	岐阜聖徳学園大学短期大学部		2
		岐阜保健短期大学		1
		中京学院大学短期大学部	4	5
		中部学院大学短期大学部		3
		中日本自動車短期大学	2	2
		名古屋文理大学短期大学部		1
専門学校	私立	愛知調理専門学校		1
		愛知美容専門学校	1	
		あいちビジネス専門学校	1	2
		朝日大学歯科衛生士専門学校		1
		国際観光専門学校名古屋校		2
		国際製菓技術専門学校	1	
		中日美容専門学校	1	
		中部国際自動車大学校	1	1
		東海工業専門学校金山校		1
		東京IT専門学校	4	
		名古屋医療秘書福祉専門学校		1
		名古屋外語ホテルブライダル専門学校		1
		名古屋スクールオブビジネス専門学校	1	1
		名古屋製菓専門学校		1
		名古屋調理師専門学校		1
名古屋美容専門学校		1		
ニチエイ調理専門学校		1		

平成26～27年度の本校生徒の進路状況を掲載します。  
 入学者の減少と系列選択による偏りで、進学先について変化が見られました。進学系列のみで1クラスを維持することができなくなり、他系列と合わせて1クラスを編成しているため、進路意識の高揚を図ることが難しく、結果、平成27年度には国公立大学への進学実績が途絶えてしまいました。  
 就職については、少子高齢化や日本型労働市場の変化などの影響を受けましたが、それなりの就職実績を挙げることができました。それぞれが自己の目標を見失わずに努力をした結果だと思われず。  
 進路支援部では、これからも3か年を通じたキャリア教育を推進し、高校卒業がゴールではなく、自己の生き方、在り方を考えた進路実現のために支援していくと考えています。



## 平成28年度同窓会役員

役職名	地区	氏名	出身校	
会長		度会 敏彦	岩村 昭39普	
副会長	岩村地区	水野 利美	岩村 昭46普	
	明智地区	植田 勝彦	明智 昭39商	
		松原 淑明	明智 昭48商	
	山岡地区	中島 利雄	岩村 昭39農	
	上矢作地区	荒田 雅晴	岩村 昭44普	
	恵那地区	神原 昌志	岩村 昭39普	
	中津川地区	市岡 増明	岩村 昭46普	
会計	瑞浪地区	伊藤 照雄	明智 昭43商	
	渉外部	三浦 育代	明智 昭51商	
理事	岩村地区	中根 邦子	岩村 昭53普	
		土屋 純子	明智 昭47商	
		服部 将之	恵那南 平24南	
	明智地区	堀 君史	岩村 昭48普	
		中村 俊彦	明智 昭59商	
		中村 恵奈	恵那南 平25南	
	山岡地区	度会 憲治	岩村 昭42普	
		勝川 妙子	明智 昭42商	
		市川 潤	恵那南 平24南	
	上矢作地区	石川 義朗	岩村 昭43普	
		三宅 武利	明智 昭51商	
	恵那地区	古里 芳伸	明智 昭54商	
		鈴木 裕子	明智 昭44商	
		中津川地区	吉田あけみ	明智 昭48事
			黄地まどか	恵那南 平25南
瑞浪地区	小木曾光佐子	明智 昭48商		
監査		水野 豊	岩村 昭50普	
		丹羽 英樹	明智 平7商	
顧問	学校長	高谷 信吾		
		小澤 建男	明智 昭37商	
		梅村 吾三	明智 昭38商	
		小松 房行	明智 昭37商	
相談役		勝 正憲	明智 昭38商	
事務局	渉外部	鈴木 充		

## 平成28年度 同窓会総会

平成28年6月25日(土)小雨の中、岩村藩校知新館跡地に立つ旧岩村高等学校同窓会館「知新会館」にて平成28年度同窓会総会が開催されました。同窓会長挨拶に引き続き高谷校長より、恵那南高等学校の現状と魅力化事業の様子、今後の取組についてプレゼンテーションがありました。恵那市を始め各方面から協力を得て事業が進められていることがよく分かりました。総会では、平成27年度事業報告・収支報告、及び監査報告が

行われ、平成28年度同窓会役員案と事業計画案・予算案が提出され、承認されました。特に同窓会役員案については、来年度行われる10周年記念事業に向けて、大幅な役員改正が提案され承認をいただきました。役員の一覧については、このページ内に紹介があります。今後この方々を中心に、10周年記念式典実行委員会が組織され、詳細について検討していきます。特に今回の役員改選で、恵那南高等学校の卒業生4人に加わっていただきました。統合して10年を経過し、同窓会活動にもフレッシュな力が必要です。皆さんの代表として頑張ってくださいたいと願っています。



同窓会総会

## 平成28年度 恵那南高等学校同窓会予算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

収入の部 単位:円

項目	28年度予算額	摘要
繰越金	4,106,095	前年度繰越金
入会金	225,000	5,000円×45名(平成28年度卒業生)
年会費	0	
負担金	0	
繰入金	0	
雑収入	405	預金利息等
合計	4,331,500	

支出の部

項目	28年度予算額	摘要
管理運営費	260,000	
旅費	10,000	旅費として
会議費	70,000	同窓会総会、役員会費
消耗品費	30,000	卒業生へ賞状ケース贈呈
通信費	150,000	総会・役員会案内・納入お礼状等
会報発行費	280,000	会報発行、データ受取費用
生徒報奨金	30,000	10,000円×3人
慶弔費	50,000	慶弔費
予備費	3,711,500	予備費
合計	4,331,500	

予算の流用については会長の専決による

## 同窓会から 生徒を表彰

毎年、卒業式前日に「同窓会入会式」を行っていますが、同日「同窓会表彰」として3人の生徒に対し、表彰状と副賞を同窓会長から贈呈しています。

- ・部活動に努力し、顕著な成績を上げた者。
- ・学業に努力し、優秀な成績を上げた者。
- ・生徒会活動等に活躍し、顕著な貢献をした者。

表彰する生徒はこのいずれかに該当し、かつ、他の生徒の模

範となった生徒です。原則として各学年から各1名です。

26年度は次の3人でした。

- (1年次生) 植田 祥子さん
- (2年次生) 林 佑弥君
- (3年次生) 春日井博文君

27年度は次の3人でした。

- (1年次生) 片桐 菜月さん
- (2年次生) 成瀬 夢さん
- (3年次生) 西尾 千秋さん

また、同窓会では卒業する生徒一人一人に、卒業証書を納めるフォルダーを記念品として贈呈しています。